



那須町と 近現代の人々

vol.14



五十嵐豊(1928-1982)

2月号は、那須町出身の芸術家・五十嵐豊を紹介し、五十嵐豊は、八幡温泉の五十嵐秀哉の次男として昭和3年に誕生しました。豊は、湯本尋常小学校(後の旧那須小学校)、宇都宮中学校(現・宇都宮高校)、東京美術学校工芸科図案部(現・東京芸術大学)を卒業後、栃木県佐野繊維工業試験場(現・県南技術支援センター)で図案技師として勤務しました。その間、第6回栃木県芸術祭工芸部門で芸術祭賞受賞、第5回世界観光ポスターコンクール日本代表として布絵「那須高原」を出品するなど県内外で活躍しています。

昭和33年に帰郷すると「やがはた工房」を設立し、那須温泉の民芸・郷土玩具の創出に力を入れ「親仔駒」「ござぼうし」「原木こけし」「高原ペコ」などの作品を制作・販売しました。また、行政や商店から依頼されたデザインに関する仕事にも携わり、那須観光協会の依頼で那須高原の案内図を制作し、母校の那須小学校100周年の際には、実行委員会の事務局員として、記念誌の表紙、挿絵、記念品制作にあたっています。今でも那須町・那須塩原市の商店では、デザインした包装紙や紙袋、看板などを見かけることができます。

豊の作品はデザインや民芸だけでなく、益子焼・烏山和紙・黒羽藍染・日光彫など栃木県の伝統工芸などを利用したものが多くあります。りんどうなどの那須の自然や子供たちを色合い美しく描き制作しました。

豊はスキー選手としても活躍しています。昭和25年の第5回国民体育大会冬季大会スキー競技会に栃木県代表として出場するなど、選手・監督として計5回国体に出場しま

した。昭和34年には全日本スキー連盟指導員、昭和40年には栃木県スキー連盟理事を務めるなど、県内でのスキーの普及・発展にも貢献しました。2月3日より、五十嵐豊没後40年の特別展を那須歴史探訪館で開催しています。この機会に豊の温かみのある作品をご覧ください。



2月が近づくと、店頭にはバレンタインデー用のチョコレートがずらりと並ぶ。華やかに装飾されたその一角を目にすると、立ち寄らずにはいられない。有名ブランドのものやキャラクターがあしらわれたもの、手作り用キットなど何度見ても飽きない▼私にはお気に入りがある。小さなケーキ屋さんの生チョコで、ショーケースに

はブラックとホワイトの2種類が並んでいる。初めて店を訪れた時、お薦めはホワイトチョコだと店員さんが教えてくれた。「ご試食どうぞ」と差し出されたチョコを見ながら「ホワイトは甘過ぎるからちよっとな」と思いつつ一口いただいた。「おいしい」思わず声に出してしまった。軽い甘さで、くちどけなめらか。私はすぐにファンになった。以来、毎年この時期を楽しみにしている▼以前のバレンタインデーは、女性から男性に

チョコレートを贈る日というイメージが強かったが、近年は大きく変化している。友達同士で贈り合うもの、家族へ贈るもの、もちろん自分自身へも忘れない。性別は関係ないよ。うだ▼このイベントの力を借りて、いつもは気恥ずかしくて言えない感謝の気持ちを相手に伝えてみる。「いつもありがとう」大切な人に伝えたい気持ちとともに、また、日頃からお世話になっている人に感謝のしるしとして、お気に入りのチョコ

こんにちは **赤ちゃん**

令和3年9月生まれ
さいとう あきほ
齋藤逢喜穂ちゃん

あきほちゃんは…
いつもトコトコ歩くの大好き！わんぱくガールです！

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは総務課広報広聴係(☎72-6901)まで。

町の世帯と人口 (1月1日現在・住民基本台帳) ()の数字は前月比

・世帯数	10,640世帯 (-10)	出生	13人 (+ 6)
・人口	24,281人 (-43)	死亡	35人 (0)
男	12,099人 (-11)	転入	50人 (-18)
女	12,182人 (-32)	転出	69人 (+ 6)
		その他	4人

広報那須がスマートフォンなどで読むことができます

栃木県のすべてがそろう「電子書籍」ポータルサイト
TOCHIGI BOOKS
トチギーブックス

マチイロ